

令和 7 年 1 2 月 1 0 日

洞爺湖町議会令和 7 年 1 2 月会議
教 育 長 行 政 報 告

番 号	件 名
-----	-----

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 洞爺湖町の今後の教育についての説明会の開催について |
| 2 | 各種事務事業の取組状況について |

1 洞爺湖町の今後の教育についての説明会の開催について

去る10月22日虻田地区、10月27日洞爺湖温泉地区、10月28日洞爺地区において「洞爺湖町の今後の教育についての説明会」を開催し、3地区合わせて50名の参加をいただいたところです。

説明会では、洞爺湖町小中一貫教育基本方針（素案）、洞爺湖町学校給食センターの在り方、洞爺湖町の教育施設の現状と課題の3つの内容について説明し、各会場の参加者からは、多様化・複雑化する未来の社会を見据え、子どもたちにとって望ましい教育環境を整えていくためのご意見・ご要望等をいただきました。

2 各種事務事業の取組状況について

前会議から本会議までの各種事務事業の取組状況について、次のとおり報告いたします。

(1) 洞爺湖子ども芸術文化フェスティバルの開催について

芸術文化フェスティバル実行委員会の主催により、去る11月7日金曜日に木管五重奏アンサンブルデアパッシュを招き、フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットによる木管五重奏での、様々な曲の演奏を町内の小学生250名が鑑賞いたしました。

各校児童1名が実際に「指揮者に挑戦」し、児童の指揮のスピードに合わせて演奏が変わると、会場からは拍手や笑いが起き、最後には、各小学校校歌を演奏に合わせ、子どもたちが元気よく歌っている姿は、日ごろの練習の成果を十分に発揮し、達成感のある表情を見せておりました。

プロの演奏を生で聞く機会が少ない中で、このたびの音楽鑑賞を通して、短い時間の中で子どもたちは、組曲の楽しみ方を正しく学ぶ機会となったと感じております。

今後も優れた音楽、演劇、舞踊、伝統芸術等さまざまな体験を通じて、発想力の育成などに取り組んでまいります。

(2) とうや湖縄文まつりの開催について

史跡入江・高砂貝塚への関心と理解をより一層深めてもらおうと「第15回縄文まつり」が9月20日、21日の2日間にわた

って、実行委員会の主催により開催されました。

1 日目の縄文講演会では、山梨大学医学部の安達登教授による「DNA からみた北海道の縄文人」と題した講演を行い、東アジア地域における古人骨の DNA 分析から、北海道の縄文人の特徴について、わかりやすく解説しました。

2 日目は入江貝塚公園を会場に、火起こし体験をはじめとした体験コーナー、縄文シャーマンショーや演奏会など趣向をこらした内容となり、来場した方々も楽しみながら遺跡に親しんでいました。

参加者は両日合わせて約 2 5 0 名の方々の来場をいただき、入江・高砂貝塚の P R と共に世界遺産への理解を深め、縄文文化に対する関心を高めていただけた内容となりました。

(3) (仮称) あぶた保育所建設工事に伴う栄遺跡発掘調査の完了について

栄遺跡の発掘調査につきましては、文化財保護法に基づく所定の手続きを経て、埋蔵文化財の記録保存を目的とした発掘調査を令和 7 年 6 月 1 6 日から 9 月 3 0 日まで実施しました。

調査の対象面積は約 8 0 0 m²で、遺構はピット 3 か所、遺物は縄文時代から擦文時代までの土器や石器が出土しており、長い期間にわたって古代人がこの場所を利用していたことがわかりました。

なお、調査期間中、町内小学校のふるさと学習のほか、夏休み発掘体験事業を実施し、子どもから大人まで延べ 3 3 名の方々に、発掘調査の体験をしていただきました。

(4) とうや湖スポーツまつり 2025 の実施について

1 1 月 9 日、世界文化遺産に登録された高砂貝塚を会場に「とうや湖スポーツまつり 2 0 2 5」が行われました。

スポーツまつりは、スポーツの日にちなんで、スポーツに親しみ、健康増進を図ろうと洞爺湖町体育協会など各関係団体が実行委員会を組織して行われました。

当日は少し肌寒く感じましたが、小学生から高齢者まで約 1 0 0 名が参加し、マラソンやウォーキングのほか、誰もが気軽に楽

しめるニュースポーツ「モルック」大会などを実施し、スポーツに親しみました。

(5) 文化祭の開催について

町教育委員会との共催により「洞爺湖町総合文化祭」が、ステージ部門を10月19日に虻田ふれ合いセンターを会場とし、展示部門を10月25日～26日にあぶた体育館、また吹奏楽定期演奏会を11月8日に虻田ふれ合いセンターを会場に開催され、合わせて約730名の町民の方々にご覧いただきました。

また、洞爺地区では「洞爺湖町民文化祭」が、展示部門を11月1日～3日、芸能部門を11月23日、いずれも洞爺総合センターを会場として開催され、合わせて約520名の町民の方々にご覧いただきました。

両文化祭は、洞爺湖町文化団体協議会並びにとうや文化協会の会員の皆様をはじめ、日頃、創作活動に励んでおられる方々の発表の場として盛会のうちに終了いたしました。

(6) ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアーについて

洞爺湖町と香川県三豊市の友好都市提携による小学生の交流事業「ふるさと・ふれあいフレンドリーツアー」は、とうや小学校及び虻田小学校の6年生と引率者を合わせた15名の訪問団が11月21日から24日までの4日間、三豊市を訪問しました。

訪問団一行は、初日に表敬訪問のため三豊市の豊中庁舎を訪れ、職員の温かい出迎えを受け、翌日は、三豊市の6年生と対面式を行った後、人形浄瑠璃の体験や瀬戸大橋記念公園の見学、3日目には金刀比羅宮での散策やみかん狩り、うどんづくり体験などを行いました。北海道ではできない体験をし、三豊市の子どもたちとの友情の輪を広め、絆を深めてまいりました。

なお、体験や学習の成果につきましては、11月27日に開催の「ふるさと教育学習発表会」において発表いたしました。